

DATA：循環器内科

- 日本循環器学会認定専門医研修施設
- 平均外来患者数(日)：83名、平均入院患者数(日)：27名
- 医師数：常勤4名、非常勤3名
- 主な対象疾患：心不全、心筋梗塞、狭心症、不整脈(心房細動)、心筋疾患、弁膜症、先天性心疾患、大動脈瘤、大動脈解離、肺動脈血栓塞栓症(エコノミークラス症候群)、高血圧症など

エビデンスに基づく適正な治療

当科では常勤医師4名を中心に、心不全、心筋梗塞、狭心症、心房細動などの急性期循環器疾患に重点をおいた診療を行っています。紹介で来院される患者様の主な症状は心電図異常、心雑音、胸痛、動悸などで、最近では心電図異常と動悸を訴える患者様が6割程度、胸痛が2～3割程度となっています。こうした症状に対して、心電図とX線検査、心エコーなどの一般的な検査に加え、症状に合わせてホルター心電図やトレッドミル運動負荷、冠動脈造影CT、MRI、さらに心臓カテーテル検査などを行ったうえで確定診断をしています。とくに冠動脈造影CTは、320列マルチスライスCTを備えており、年間700件以上の検査を行っています。

当科の常勤医師は全員PCI(Percutaneous Coronary Intervention：経皮的冠動脈形成術)の技術を持っており、治療はPCIを中心に選択しています。年間治療件数は250例程度で、症例数だけ見るとあまり多くないと感じられるかもしれませんが、しかし、世界基準のガイドラインを遵守し、前述のような適正な検査を経た診断のうえで必要な患者様



循環器診療への情熱が地域救急医療を担う

にのみ治療を行うという大前提を踏まえると、適切な件数であると胸を張って言えます。PCIではステント留置が多数を占めますが、従来のステントは再狭窄が起こることがたびたび報告されていましたが、近年、薬剤溶出性のステントが登場したことにより再狭窄を大幅に減少させることができるようになりました。他のPCIと比較しても予後は良好で当科でも取り入れています。術後の患者様に対しては抗血栓薬をきちんと飲むこと、食事や運動、とくに有酸素運動を奨励するなど生活指導にも力を入れています。



心臓病センターでは夜間、休日問わず24時間、365日専門医が待機

循環器疾患の治療は循環器内科だけで完結するものではありません。症状によっては冠動脈バイパス術やペースメーカー植え込み術など外科治療への移行が必要になります。そこでより総合的な治療を求めて循環器内科と心臓血管外科が協力し、心臓病センターを設立しました。ICU(集中治療室)を6床、HCU(準集中治療室)を6床、ECU(救急一時

地域の救急医療を牽引する、ホットライン開設

循環器内科

受け入れ病棟)を8床備え、軽症から重症まで入院加療を行っています。また、救急医療にも積極的に取り組んでいます。夜間、休日を問わず24時間、365日専門医が待機し、急性心筋梗塞などの重大疾患の受け入れ態勢を整えています。

こうした取り組みによって循環器救急における市川市の市内完結率は90%となっています。より高度な診療が必要な場合、例えば心房細動治療のカテーテルアブレーションが必要な症例、ICD(植え込み型除細動器)やCRT-D(両室ペースメーカー機能付き植え込み型除細動器)といったペースメーカー的な心不全治療は連携している

病院へ紹介しています。加えて、地域の医療機関や救急隊との密な連携も積極的に進めています。研究会や勉強会を開催して情報交換や最新の循環器診療の知識を共有するよう心がけています。

当院には救急ホットラインと心臓病センターホットラインがあります。救急ホットラインは救急隊からの受け入れ要請に応じ、心臓病センターホットラインは地域医療機関の先生方からの患者様の紹介に応じています。こうして迅速で適切な対応を行い、地域にお住まいの方々に当院と医療機関の両面から支える体制を作り上げています。

患者様紹介について

ご紹介にあたって、遠慮はございませんか?「このような症状で紹介してよいか」「少しくすり様子を見ようか」と悩まれるより、少しでも気になる症状があったら遠慮なくお知らせください。患者様の病状が進行するまえに対応ができればと切に願います。

また、当院退院後にご紹介した患者様へは、積極的に治療を行っていただければ幸いです。処方薬も、紹介後の患者様の状態を見ながら適宜変更いただくことで、よりよい予後につながると思います。必要に応じて情報交換し、常にコンセンサスを取りながら患者様にとってのメリットを追求できればと思います。

information

市川リレーションシップカンファレンスを開催します

地域みなさまに安心して医療を受けていただくための体制構築に向けた、東京歯科大学市川総合病院と地域の先生方を結ぶ新たな取り組み“市川リレーションシップカンファレンス”。紹介・逆紹介においてそれぞれの専門性を最大限に活かせるように、相互理解を目的としたカンファレンスです。

- ❖日程:平成28年3月1日(火)
- ❖時間:19:30~
- ❖場所:東京歯科大学市川総合病院 角膜センター 3階会議室

- 最新の循環器治療の変化について(大木貴博)



循環器内科 准教授
大木貴博

みなさまのご参加、お待ちしております。

医療機関の先生方へ

市川総合病院 診療情報提供書

検索

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者様のご紹介などを円滑に行えるように、「地域連携・医療福祉室」を設置しています。ご不明な点がございましたら、下記へお尋ねください。

地域連携・医療福祉室 TEL 047-322-0151(内線2214) FAX 047-324-8539(直通)

開室時間 月曜日~金曜日:午前9時~午後5時 土曜日:午前9時~午後1時(第2土曜日は休診日)